

エコアクション 2.1 環境経営レポート

活動期間：2023年8月から2024年7月

発行日：2024年9月2日



株式会社アスリテラ

目 次

環境経営方針	P3
組織概要	P4
環境マネジメントシステム運営体制	P5
環境目標	P6
環境経営計画の取組と評価	P8
環境関連法規制の遵守	P9
社長による全体の評価	P10

株式会社アスリテラ

環境経営方針

〈環境経営理念〉

株式会社アスリテラは、事業活動を通じて社会・環境への貢献をすることによって、社員一人一人が社会的価値を創造し、自他共の幸福の実現を図ることを目的としております。

同時に、事業活動を展開することは環境への負荷をもたらすものであり、広く環境対策に取り組むことが重要であると考えています。

このような認識のもと、全ての事業活動を通じて二酸化炭素削減をはじめとする環境負荷低減・省資源対策に取り組み、持続的な発展が可能な社会づくりに継続的に貢献いたします。

〈基本方針〉

- ① 節電と省エネルギー化を進め、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
- ② 業務遂行において、無駄を省き、廃棄物の発生量を低減します。
- ③ 節水に努め、排水量を低減します。
- ④ グリーン購入を推進することにより、環境に配慮した調達を進めます。
- ⑤ 環境に関連する法規則・条例等を遵守し、環境配慮に努めます。
- ⑥ 化学物質の適正管理に努めます。
- ⑦ ポータブル蓄電池の販売を拡大し、社会のBCP導入普及に貢献いたします。

社内要所に環境経営方針を掲示し、全従業員にエコアクション21環境経営システムの運用を徹底します。

制定日 2023年8月1日
株式会社アスリテラ
代表取締役社長 山口 直樹

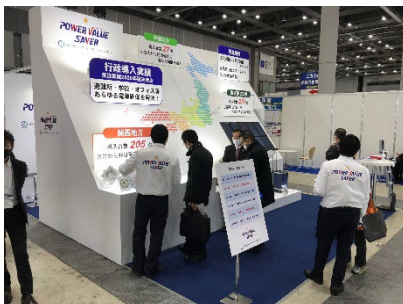
2. 組織概要

■ 会社概要

事業者名	株式会社アスリテラ		
所在地	〒102-0073 東京都千代田区九段北1-4-5 北の丸ガラスゲート6階A		
	電話番号 03-3221-1116		
対象事業所	本社		
設立	平成6年12月9日		
資本金	1,000万円		
売上高	6.0億円（2024年7月）		
従業員数	30名（2024年7月）		
代表者	代表取締役社長	山口	直樹
環境責任者	環境ソリューション事業部長	田丸	智博
担当者	環境ソリューション事業部	藤原	章雄
事業内容	環境ソリューション事業 蓄電池の開発・販売 トータルマーケティング事業 セールスプロモーション、テレマーケティング ヒューマンソリューション事業 一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業 DX・パーソナル事業部 デジタルソリューション、ビジネスソリューション		



環境ソリューション事業
ポータブル蓄電池



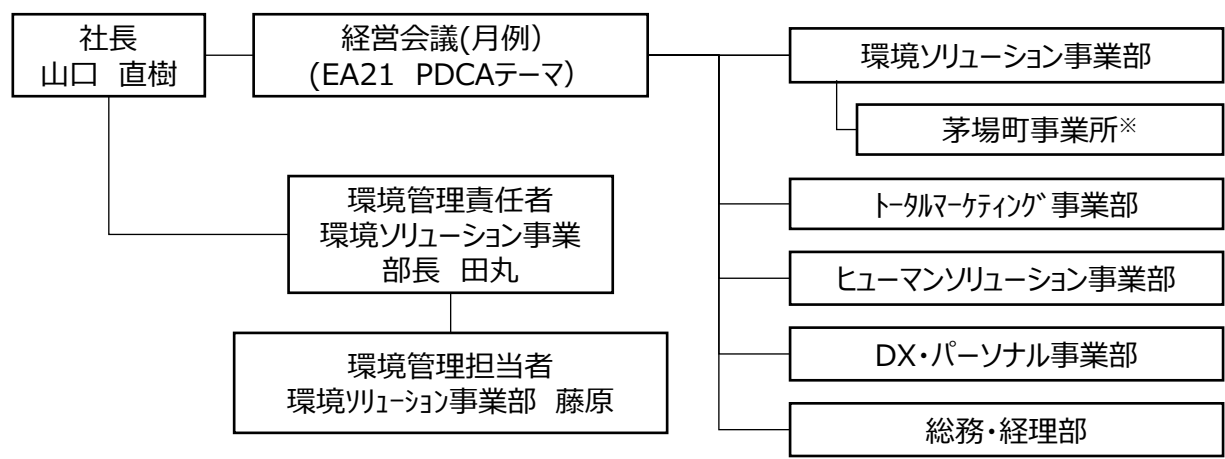
トータルマーケティング事業



ヒューマン・ケアソリューション事業

■ 環境マネジメントシステム運営体制

2024年8月現在



※現在は立上直後のため、対象外。次回の審査では含める

■ 役割と責任及び権限

1. 代表者
山口 社長

● 責任と権限

当社の環境マネジメント活動に関する全ての責任と権限

● 役 割

①課題とチャンスの明確化

②環境方針の策定

③環境管理責任者の任命

④環境マネジメントシステム実施の経営資源を提供

⑤マネジメントレビューの実施
2. 環境管理責任者
田丸 事業部長

● 責任と権限

環境マネジメントの推進に関する責任と権限

● 役 割

①環境マネジメントの要求事項の確立、実施及び維持

②目標及び実施計画の策定を確認

③マネジメントレビューの計画立案

④問題発生時の是正処置と評価
3. 環境管理担当者
藤原
環境ソリューション事業部

● 責任と権限

当社の環境活動の確実な実施

● 役割

①環境負荷データの集計

②共通文書、記録、マニュアルの作成

③環境マネジメントの実行窓口、実務全般

④環境教育訓練及び緊急事態対応の推進

⑤環境経営レポートの作成

⑥環境関連法規等の取りまとめ及び最新情報の収集
4. 各部門の責任者
各部長

● 責任と権限

自部門の環境マネジメント実行に関する責任と権限

● 役割

①環境活動計画の実施

②環境目標達成状況の確認

③環境教育訓練及び緊急事態対応訓練の実施

④環境に関わる情報の入手と提供

⑤問題が発生時の報告と是正処置

3. 環境目標

3-1. 環境経営目標

環境目標	基準と目標	基準 2019年度	目標	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
				目標	目標	目標	目標
電力の削減	電力使用量を削減 (空調と照明のみ) 原単位削減	29,961kW h	絶対値	-2.5%	-2.5%	-5%	-5%
自動車燃料 の削減	車両1台の燃料購入量 削減とエコドライブ	14,261kg- CO ₂	絶対値	-2.5%	-2.5%	-5%	-5%
廃棄物の削減	一般廃棄物のみであり、 活動テーマは分別廃棄 とグリーン購入 * 1	-	G購入の実 施率	-	-	-	-
水使用量の 削減	生活系のみであり、 日ごろの節水	-	意識向上	-	-	-	-

製品・サービスの取組み

PCB	環境指標として CO ₂ 削減	5.2億円	売上アップ	3億円	0.7億円	-	-
蓄電池	再エネを溜める、商用 電力の削減に 間接効果	1.9億円	売上アップ	5億円	3.5億円	3.5億円	5億円

(注) * 1 : グリーン購入ネットワークの会員になりました。
狙いは、グリーン調達、資源保護などの情報を適時入手し社員の意識を高めるためです。

3-2. 環境目標と実績

購入電力の排出係数は、0.476kg-CO₂/kWh（出光興産）を使用しております。
今年度の実績は、2023年8月から2024年7月の1年間の実績です。

環境目標	基準値 初年度 2019年	2023年度の実績		
		目標値	実績	達成状況
① 電力の削減 （CO ₂ 削減量/売上高原 単位）	29,961kWh	29,212kWh	21,838kWh	◎
② 自動車燃料の削減	14,261kg-CO ₂	13,904kg- CO ₂	6,624kg-CO ₂	◎
③ 製品(PCB) のCO ₂ 削減の取組み （PCB事業の売上高）	5.2億円	0.7億円	0.5億円	事業譲渡によ り除外
④ 製品(蓄電池) の CO ₂ 削減の取組み （ポータブル蓄電池の売 上高）	1.9億円	3.5億円	1.1億円	×

3-3. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2019年度 基準年	2022年度 実績	2023年度 実績
①商用電力使用 (kWh)	29,961kWh	32,310kWh 基準年度 +6% (猛暑によりエアコ ン使用頻度増)	21,838kWh 基準年度 -27%
②商用電力のCO ₂ 排 出量 (kg-CO ₂)	14,261kg-CO ₂	15,379kg-CO ₂	6,624kg-CO ₂
③車両の燃料	7,413L 17,198kg-CO ₂	3,243L 7,518kg-CO ₂	2,853L 6,619kg-CO ₂
④当社のCO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	31,4594kg-CO ₂	2,2904kg-CO ₂	2,2904kg-CO ₂
⑤年間売上 (百万円)	880	440	603

4. 環境経営計画の取組み評価・次年度の取組み内容

環境経営計画	自己評価	取組結果とその評価
1.二酸化炭素排出量の削減 ①空調機温度設定の適正化 ②空調機の退出前30分にOFF ③天井照明灯のSW管理 ④クールビズの実施 ⑤エコドライブの推進 ⑥社用車の点検整備 ⑦要因分析と削減方法の確立 ⑧GPN加入	○	取組み内容については実行できた。
	次年度の取組み	従来通りの活動を展開する。 昨今の自然災害や異常気象による大雨や台風などによる自然災害と人的災害の発生多発を考慮し、カーボンニュートラルに対する社員の意識をさらに高め、関連商品の事業を通じて、温暖化防止に貢献したい。
2.本業に関する目標-1 ポータブル蓄電池の販売促進で、売上高アップ	×	市場の競争に巻き込まれないよう新規市場の開拓と市場に合わせた製品企画を実行。また、BtGからBtB営業へ特化し、代理店サポートと代理店販売強化を図った。数字には反映していないが、BtB販売代理店の売り上げが増えてきた。
	次年度の取組み	新市場へ投下する新製品の販売促進、展開をタイムリーに行っていき、シェアを獲得する。 また、ニーズに合わせた製品の取り扱いとサービスを組み合わせることで自社の優位性を確保し、市場シェアを伸ばす。

5. 環境関連法規制の遵守

当社事業に関係する新たな立法はなく、また事業に影響するような法改正などもなかった。

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
フロン排出規制法	管理はビルオーナー。当社では節電と電源OFFを徹底。	遵法
廃棄物処理法	シュレッダー紙の丸秘分別廃棄	遵法
消防法	消火器の置場と点検の管理	遵法
自動車リサイクル法	廃車時にはディーラーなどに依頼	遵法
小型電子機器リサイクル法	対象電子機器の更新、廃棄時には、業者に引き取りを要請する。	遵法
家電リサイクル法	冷蔵庫の更新廃棄時には、業者に引き取りを要請する。	遵法
PCリサイクル法	対象電子機器の更新、廃棄時には、業者に引き取りを要請する。	遵法
資源有効利用促進法	PCの廃棄は業者に引き取りを要請する。	遵法
東京都環境確保条例	アイドリングストップの励行。正規燃料を使用。	遵法
労働安全衛生法	健康診断の受診。昼休みにヨガなど実施し健康管理。	遵法
特定化学物質等障害予防規則	全ての作業者は、作業主任者の資格を有する。	遵法
PCB特別措置法	作業実施、報告書作成時には法の要求事項に基づき実施	遵法

5-2.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況は評価の結果、問題ありませんでした。なお違反・訴訟は有りません。

6. 代表者による評価と見直し・指示・記録

トップレビュー実施日	2024年9月2日	
報告者	環境管理責任者 田丸事業部長 環境管理担当者 藤原 実施部門 環境ソリューション事業部	
報告書類	トップレビュー報告書 環境マネジメントシステム運用状況報告	
社長評価結果	環境経営方針	環境経営方針の変更は必要なし
	環境経営目標 及び環境経営計画	変更の必要なし
	環境経営システム (実施体制含む)	変更の必要なし
	指示事項	本年は震災や豪雨等が各地で発生しており、災害に対する関心が強まってきている。PDCAサイクルを効果的に回しながら対策を実施すること。 また、各事業部門は、業務内容に温暖化対策など環境問題への貢献を深化させ行動すること。 売上を伸ばすことは、CNにもつながる認識も大切である。

異常気候などが一つの要因となり、昨今国内外で風雨などにより甚大な被害が出ております。
この流れを防ぐ対応策は、カーボンニュートラルとGXを一層推進することです。
当社は、自他共の幸福の実現を経営理念に全社員一丸で事業を進めております。
環境課題の解決も経営上の重要課題として取り組みを加速させるため、エコアクション 2 1 を導入から4年が経過し、多くの社員の環境意識並びにその行動が充実してきております。
環境ソリューション事業部は事業を推進することで再エネ導入やカーボンニュートラル、防災、BCPと社会に貢献できるため、EA21の理念の理解をさらに深め日々行動すること。
当社の商品サービスがESG経営に近づいてきたことを実感しております。

2024年9月2日
株式会社アスリテラ
代表取締役 山口 直樹

株式会社アスリテラ



作成

2024年9月2日

環境ソリューション事業部 藤原 章雄